



飲食店でも家庭でも しっかり防ごう、食中毒!

令和2年9月9日
富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

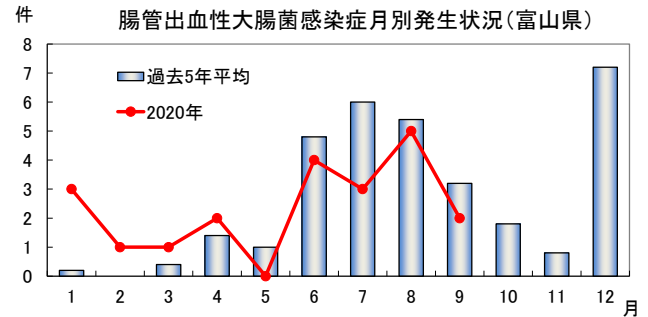
(令和2年第36週分・8月31日～9月6日)

《インフォメーション》

●腸管出血性大腸菌感染症

9月8日現在、県内の腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症の報告数は21件で、前年同時期（16件）とほぼ同数となっています。近年、国内では無症状病原体保有者を含むEHEC感染症が約3,500～3,900件報告されています。例年、EHEC感染症は夏季に報告数が増加しますが、一年を通して報告があるため、今後も引き続き注意が必要です。

EHECは、主に牛などの反芻動物が保菌していることが多く、本菌はその糞便を介して、肉類やその他の食品、井戸水などを汚染します。菌が付いた食品を食べると、3～5日後に発熱や激しい腹痛、水様性の下痢、血便、吐き気、嘔吐などの症状が現れます。一部の患者は、合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症を併発して重症化し、死亡する場合があります。特に、抵抗力の弱い子供や妊婦、高齢者は重症化しやすいため、注意が必要です。感染予防の基本は手洗いです。また、生肉あるいは加熱が不十分な肉、内臓肉の喫食を避けることが重要です。下記のことに気を付けて感染予防に努めましょう。



- ① 調理の際、食事の際、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「加熱食材用」と「生食用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温（10℃以下）で保存する

《全数報告の感染症》

指定感染症 新型コロナウイルス感染症 17件
 二類感染症 結核 4件 (①第34週診断分：70歳代、男性 ②70歳代、男性
 ③70歳代、女性 ④80歳代、女性)
 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①20歳代、女性、O157,VT1VT2
 ②40歳代、男性、O157,VT2)
 四類感染症 レジオネラ症 1件 (70歳代、男性、肺炎型)
 五類感染症 アメーバ赤痢 1件 (40歳代、男性、腸管アメーバ症)
 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (第35週診断分：90歳代、女性)
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第35週診断分：80歳代、男性、A群)
 梅毒 1件 (80歳代、男性、無症候)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.59 (↑)	1.83
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.69 (↑)	0.41
3位	マイコプラズマ肺炎	0.40 (↑)	0.20
4位	突発性発しん	0.31 (↓)	0.55
5位	咽頭結膜熱	0.21 (↑)	0.17
6位	ヘルパンギーナ	0.17 (↑)	0.14

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
 アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第36週 令和2年8月31日～令和2年9月6日）

分類	疾患	今週報告分（第36週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症					17	17	36	13	34	11	308	402
二類感染症	結核	1		1		1	3	11	3	23	8	27	72
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					2	2			9		12	21
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							9				1	10
	デング熱											1	1
	レジオネラ症			1			1	1		12	1	13	27
五類感染症	アメーバ赤痢			1			1			1	1	2	4
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2		4	1	3	10
	急性脳炎							2		1		1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		5	7
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		5	9
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒			1			1	2		4		12	18
	破傷風											2	2
	百日咳											24	26
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	892	567	1,190	3,564
	RSウイルス感染症							2	5	26	4	37	74
	咽頭結膜熱	2 0.50				4 0.40	6 0.21	84	56	106	8	80	334
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.25	3 1.00	13 1.63		3 0.30	20 0.69	118	179	1,148	170	1,326	2,941
	感染性胃腸炎	16 4.00	12 4.00	11 1.38	2 0.50	34 3.40	75 2.59	877	489	621	254	1,773	4,014
	水痘							29	30	62	17	95	233
	手足口病			1 0.13			1 0.03	18	3	26	8	52	107
	伝染性紅斑							9	26	31		162	228
	突発性発しん	1 0.25		3 0.38	1 0.25	4 0.40	9 0.31	26	20	148	55	133	382
	ヘルパンギーナ	2 0.50	1 0.33	1 0.13		1 0.10	5 0.17	57	2	14	3	8	84
	流行性耳下腺炎		1 0.33			1 0.10	2 0.07		6	5	4	13	28
	流行性角結膜炎							1	5	8	2		16
	細菌性髄膜炎									1			1
	無菌性髄膜炎							1			1	5	7
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00	1 1.00			2 0.40	2	8	23	16	9	58
	クラミジア肺炎											1	1
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）													0

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。